

臨床研究「神経筋疾患臨床検体の解析（核酸，蛋白，小分子など）研究」について

2023年2月27日 第1.0版

筑波大学附属病院神経内科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

ヒト生体サンプル（血液成分、尿、糞便、皮脂、剖検切片など）を用いて、新たに可能となったゲノム・オミックス解析（エクソソーム miRNA プロファイリング、エクソソーム内代謝産物解析、エクソソーム内プロテオームプロファイリングなど）を実施し、疾患に直結する分子病態解明およびそれに基づく治療法開発に繋げることを目的とする。

② 研究対象者

倫理委員会承認日～2026年3月31日（患者登録は2026年1月31日まで）に当院で診療を受け、亡くなられて、病理解剖のご同意を文書で頂いた患者さん

③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2026年3月31日まで

④ 研究の方法

剖検体より採取した組織切片から該当する成分を抽出し、下記の検討を行う。それらのデータを基にトランスオミックス解析や臨床情報を含めた多変量解析を行い、病態に直結する分子機構を同定する。

- ・剖検切片における核酸（DNA、RNA など）の配列、量の解析
- ・剖検切片における蛋白質・小分子化合物の濃度の解析
- ・剖検切片における各細胞の形態の解析

⑤ 試料・情報の項目（具体的に記載すること）

剖検切片（脳、脊髄、末梢神経、および骨格筋）、検査データ、臨床情報

⑥ 試料・情報の第三者への提供について（該当する場合は記載）

- 1) 他の研究機関で得られた検体の解析は、当科では行わない。
- 2) 他の研究機関で得られた臨床情報の解析は、当科では行わない。
- 3) 筑波大学以外の共同研究機関への試料および資料・情報は、匿名化された状態で提供される。匿名化コードと患者情報の対応表は筑波大学において厳重に保管し、供与先研究機関には供与・供覧しない。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

代表機関： 筑波大学神経内科、研究責任者： 斉木臣二（神経内科教授）

⑧ 研究機関名および研究責任者名

施設名	研究責任者名
東京大学	松川 敬志、戸田 達史
鹿児島大学	高嶋 博
順天堂大学	服部 信孝、波田野 琢
茨城県立医療大学	河野 豊

⑨ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族（ご遺族）が本研究への参加を希望されず、試料・情報の利用又は提供の停止を希望される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：神経内科 担当 齊木臣二

電話・FAX：029-853-3224

E-mail: ssaiki@md.tsukuba.ac.jp

対応可能時間：平日9～17時